

# こんにちは 野々市市議会です



## 「和傘～いしかわ百万石文化祭2023～」

【石川県立明和特別支援学校 高等部】

12月定例会議案審議・議決結果一覧	……2P
各委員会の主な質問と答弁	……3P
12月定例会一般質問 10人	……4P
視察報告	……14P
3月定例会日程	……16P

議会だより

44号

2025年(令和7年)



# 令和6年度一般会計補正予算 予算額は6億4,640万4千円の増 民生費関係扶助費2億9,950万円追加 子宮頸がんワクチン接種事業費3,300万円追加

令和6年第4回 12月定例会は、11月27日から12月16日まで開かれました。12月定例会では、市長提出議案20件、議員提出議案1件を可決、承認し、請願1件を不採択としました。

主な議案として、「民生費関係扶助費（障害者自立支援給付事業、障害児通所支援給付、生活保護扶助費、子育て支援医療費助成事業など）」の増加に伴う追加、積極的勧奨を差し控えている間に接種を受けることができなかった平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれの女子を対象にした「子宮頸がんワクチン接種事業費」の追加、「野々市市文化会館の改修に係る関連工事費」の追加（963万円）など6億2,526万5千円を計上した令和6年度一般会計補正予算案を可決しました。また、令和6年10月27日執行の「衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費」2,113万9千円を10月9日付けで専決処分した令和6年度一般会計補正予算案を承認しました。（補正後の一般会計予算額245億3,352万4千円）



## 議決結果一覧

○=賛成、×=反対  
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。  
※会派等の名称：あおば（あおばの会）、共（日本共産党）、令（令和清栄）、無（無名）、み（みのりの会）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	野々市市フォーラム								あおば	共 令	無 朝倉	み 梅野智恵子	公 木谷 直子	議 北村 大助	副 安原 透
				三納 昭博	田中 陽子	畠中 勝己	小堀 孝史	向田 誠市	中村 義彦	中村 和流	西村 雅博							
議案第63号	専決処分（令和6年度野々市市一般会計補正予算第4号）の承認について	12月16日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和6年度野々市市一般会計補正予算（第5号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和6年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和6年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和6年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和6年度野々市市水道事業会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	野々市市公告式条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	野々市市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第72号	一般職の職員の給与に関する条例及び野々市市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	野々市市手数料条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	野々市市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	財産の取得について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	市道路線の認定について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	野々市市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	学校給食費の無償化を求める請願書	12月16日	不 採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会議案第6号	ひきこもり支援に関する法整備を求める意見書	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

# 各委員会の主な質問と答弁

12月9・10・13の3日間

## 予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

**Q** ふるさと納税業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。

**A** ふるさと納税の寄附金額が当初の想定より増えたことに伴い経費が増えたもの。寄附金額が増えた要因としては、能登産の素材を活用した返礼品が人気であることから、能登の復興支援によるものと考えている。

**Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。

**A** 公費による子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その結果、当初見込み750回に対し、令

和6年9月末の実績が770回となり、実績見込みを1,884回として不足分1,134回の委託料を追加したものの。

**Q** プレ妊活健診委託料として69万2千円、不妊治療費助成に係る事業費として88万円が追加されているが、その理由は。

**A** プレ妊活健診は、受診組数の増加に伴うもので、当初見込み40組に対し、令和6年9月末の実績が33組となり、実績見込みを66組として不足分26組の委託料を追加したもの。不妊治療助成は、先進不妊治療にかかる費用の1回当たりの助成額を、これまでの実績から当初6万2,500円で見込んでいたところ、令和6年度の実績が9万円となったことから、不足分を追加したものの。

**Q** 道路の消融雪設備整備費として500万円が追加されているが、整備延長は。

**A** 令和6年度に消融雪設備の整備を終えた野々市工大前駅通り線（新設）、本町2丁目住吉線（更新）に関連する予算で、整備延長は野々市工大前駅通り線が約750メートル、本町2丁目住吉線が65メートルである。

**Q** 野々市工大前駅通り線の消融雪設備の水源は。

**A** 令和4年度に高橋町5号線（市道）で消融雪用の井戸の掘削を行っており、その井戸水を水源としている。

**Q** 東京国際ツバキ大会プレコングレスツアーで「のいち椿館・椿山」を訪れる海外の人々を受け入れるために、「のいち椿館・椿山」を紹介するパンフレットの英語版を増刷することとしているが、英語以外の外国語対応の予定は。

**A** 令和元年度に作成した英語版パンフレットの在庫が不足していることから、プレコングレスツ



椿山（野々市中央公園内）

アーの実施にあわせて、掲載写真の差し替えや時点修正を行った上で増刷する。現時点では英語対応のみで考えている。





安原 透 議員

## 財政健全化期間の補助金や助成金の減額による地域コミュニティに与える影響について

今後とも必要な支援についてはしっかりと努めたい

- 市財政の現状と課題・展望は**
- Q** 財政健全化集中取組期間が終了し経常収支比率等は改善したが、社会保障費、財政負担の増加や経常経費の増加等、財政は恒常的に厳しい状況にある。財政基盤の安定と強化について伺う。
- A** 市長 ● 老朽化が進む公共施設の維持更新、中央公園拡張整備事業という大型プロジェクトの推進、新たな行政需要に対する対応等、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続く。限られた予算の中で健全な財政状況を維持し、将来の世代に負担を残さない財政運営に努めたい。
- Q** 財政健全化の観点から民間企業が重要業績評価指標が活用されている。各事業の優先順位や取捨選択をしていく為の更なる仕組みづくりについて伺う。
- A** 市長 ● 第二次総合計画では、各施策において成果指標を設定、第2期のいち創生総合戦略においても各施策において重要業績評価指標を設定している。毎年各施策や事業に関する行政評価を行い、進捗状況を評価し、PDCAサイクル

- ルにより施策や事業を展開している。政策的な事業や重点事業を、夏頃から把握、検討、次年度の予算編成に反映し、必要性を確認することで、安定した財政運営に努めている。
- 補助金や助成金の減額が地域「コミュニティ」に与える影響は**
- Q** 財政健全化期間の補助金減額が、地域コミュニティや市民、個人の活動問題になると考える。市民に対しさらにきめ細やかな対応が必要である。地域コミュニティに与える影響について伺う。
- A** 市長 ● 財政健全化の期間には御協力をいただいた。各団体や事業への補助金減額は補完していないが、これまで以上に様々相談やコミュニケーションを図ることもできた。今後とも必要な支援についてしっかりと努めたい。
- 国際優秀つばき園の活用施策**
- Q** 本州初の認定である「国際優秀つばき園」はその存在や魅力について市内外への周知、観光資源としての活用が課題である。今後、このつばき園をどのように観光資源として最大限に活用するか伺う。

- 「ウォーカーブル推進都市として」**
- Q** 「まちなかウォーカーブル推進事業」は車中心から歩行者中心の都市空間へと転換を図る絶好の機会である。野々市駅周辺や中心市街地における歩行者空間の整備や滞在環境の向上が課題である。今後の予定や計画を伺う。
- A** 市長 ● 車から人中心の空間へと転換を図る「居心地が良く歩きたくなるまちなか」に共鳴し、令和元年にウォーカーブル推進都市として賛同した。これまで遊歩道の整備や、ウォーキングに適したコースの設定などを行ってきた。今後ハード・ソフト両面から歩きたくなるまちなか実現に向けて取組みたい。
- Q** 近年、学校プールの管理と水泳指導を外部委託に切り替える動きが全国的に広がっている。文部科学省も、学校プールの管理について、指定管理者制度や民間委託の活用を推奨する通知を出した。メリットとデメリットを考慮しても、十分にメリットが上回ると思われることから、学校プール授業の外部委託を導入すべきと考えるがいかがか。
- A** 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していきたい。
- 移動トイレの導入について**
- Q** 能登半島地震の教訓から、水洗式の便器を備えた移動式トイレなどに政府が自治体に費用を補助する方針を固めたと報道された。本市にもトイレカーを導入してはいかがか。
- A** 市長 ● 衛生面や安心面があることは認識しているが、運転手の確保等の課題もある。災害時のトイレ対策については、トイレカーに限らず、引き続き検討していく。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 [https://youtu.be/fKBLCX\\_2YRk](https://youtu.be/fKBLCX_2YRk)

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員  
(令和清栄)

## 学校現場に電話の録音設備を導入せよ

通話録音装置の設置も含めて、適切な方法を検討する

- 学校への相談・苦情の対応について**
- Q** 9月議会で提案したスクーロロイヤーの導入が実現できなかったが、せめて、教職員に代わって対応する「苦情相談専門員」を配置せよ。
- A** 教育長 ● 学校の教職員は児童生徒の生活面や学習面、不登校等の多くの面で、日々、保護者と連絡を取り、家庭訪問をしている。その中で、長時間にわたる対応に苦慮する事例もあり、対応した教職員の業務の支障となったり、精神的な負担となったりしている現状も一部で見受けられる。このような事例に対して、専門的な支援が必要な場合には、弁護士等にも相談して対応している。現在、苦情相談専門員を配置する予定はないが、現場の先生方が抱える課題に対して、より良い支援を行える体制づくりに努めていく。
- Q** 電話での相談や苦情でも、時に悪質な事例があるようだ。カスタマーハラスメントのような苦情などが、市役所窓口、一般企業、そして学校現場でも増加している。その対策として、すべての通話を録音する設備を導入すべきと考えるがいかがか。

- 音する設備を早急に導入すべきと考えるがいかがか。**
- A** 教育長 ● 近年、学校では保護者や一般の方との電話対応において、会話が長時間に渡り、教育活動に影響を及ぼすこともある。学校現場の業務改善が指摘される中、教職員の精神的負担を軽減するとともに、相手との通話内容をより確実に把握するために通話録音装置の設置も含めて、検討していく。
- 小中学校のプールの老朽化及びプール授業の在り方について**
- Q** 市内小中学校のプールの老朽化が著しい。学校プールの建設には、約3億円から4億円必要といわれているが、7校で順次更新してもかなり高額となる。長寿命化や複合化という考えもあるが、取り敢えず現状で問題が大きい箇所は早急に修理すべきと考えるがいかがか。
- A** 教育部長 ● 修繕が必要な箇所があることは承知している。順次対応していきたい。今後は、適切に施設の維持管理を実施し、将来的な施設の老朽化による更新を見据え、費用対効果を求めて学校プールの在り方について研究していく。

- Q** 近年、学校プールの管理と水泳指導を外部委託に切り替える動きが全国的に広がっている。文部科学省も、学校プールの管理について、指定管理者制度や民間委託の活用を推奨する通知を出した。メリットとデメリットを考慮しても、十分にメリットが上回ると思われることから、学校プール授業の外部委託を導入すべきと考えるがいかがか。
- A** 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していきたい。
- 移動トイレの導入について**
- Q** 能登半島地震の教訓から、水洗式の便器を備えた移動式トイレなどに政府が自治体に費用を補助する方針を固めたと報道された。本市にもトイレカーを導入してはいかがか。
- A** 市長 ● 衛生面や安心面があることは認識しているが、運転手の確保等の課題もある。災害時のトイレ対策については、トイレカーに限らず、引き続き検討していく。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/FpfKep4Ci2k>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。







向田 誠市 議員  
(野々市フォーラム)

## 不登校児童生徒に対する支援は勿論ですが 今後、家族に対する支援も検討すべきでは

心理的支援等については、現在、充実を図っており、経済的支援についても、他の自治体を参考に研究してまいります

**A 市長** ●議員質問のとおり、スポーツ機能をはじめ、気象条件や福祉、防災など様々な観点から検討を行う必要があり、今後、具体の整備に際しては、市民の皆さまから理解が得ることができ、多くの方々を利用いただける施設整備を行って

**Q** スポーツ機能だけのプロジェクトではなく、北陸の気象条件等も確り把握され、福祉・防災の観点から、全天候型で検討対応されたプロジェクトでなければ、市民の理解は得られないと思うが。

**A 市長** ●ご提案のありました、「職員が自分の目で見て確かめる」ということにつきましては重要でありますから、必要に応じて先進地視察など直接現地に出向き、情報収集や知見を広めるといったことを行いながら、本事業がより良いものとなるよう努めてまいります。

**Q** 大きなプロジェクトを進める上で、職員自らが検討内容の情報共有化のため、自分たちの目と足で確認を行うことは、夢が持てるプロジェクトを推進するうえで重要な要素と考えるが。

中央公園拡張整備事業に関する件

**A 市長** ●末松廃寺跡再整備事業等については、担当課から逐一報告を受け、私も現地視察をしておりますが、今後、私自身も現地で

**Q** 末松廃寺跡公園の雑草及び出土品保管建物の雨漏り等を含め、今後このような案件に対しては、市長自らの目と足で確認される必要があると思いますが。

**A 市長** ●国史跡の末松廃寺跡公園は平成二十六年度から再整備を行うため発掘調査を再開し、調査の結果につきましては、毎年調査終了後に現地説明会を開催し、市民の皆様にご開示しています。今後の発掘調査については、遺跡調査指導委員会に諮り、計画を考えた

**Q** 今後、「末松廃寺跡公園」を、どのようにして管理・運営されるお考えなのか。

まいりたいと考えております。

に赴き、現状を見てまいりたいと思っています。

本市の教育関係について

**Q** 本市の中学校及び小学校の不登校となっている生徒、児童は各々何名で、現状の状況と、今後、教育委員会は、不登校の対策としてどのようにして教育の場にご導

**A 教育長** ●年間三十日以上欠席した不登校児童と生徒は、

小学校の児童が八十名、中学校の生徒が一〇八名です。各学校では、不登校児童生徒の保護者と連絡を取ったり、面談をしたりして、それぞれの児童生徒に合わせた対応を行っています。また、校内支援センターや育センター内の触れ合い教室を利用して、学習する児童生徒も多く見られます。今後の不登校対策として、市教育センターの大規模改修によるソフト面、ハード面の機能強化、校内教育支援センターの更なる充実を図ることで、学校外の機関や自宅等で行った学習成果の成績に反映させ、誰一人取り残さない学びの充実に向けて検討する。



小堀 孝史 議員  
(野々市フォーラム)

## ゼロカーボンシティのいち推進パートナー制度 の取り組みをどのようにアナウンスしているか

本市では、各パートナーの名前・取組内容をHPに掲載してPRの支援を実施している

**Q** ゼロカーボンシティの実現に向けて、どのようにアナウンスしているか伺います。

**A 市長** ●各5つのパートナー様からも、それぞれの情報発信ツールを用いて取組内容をPRしてもらっている。

低炭素・循環型社会をつくる

**Q** 温室効果ガスを発生させない低炭素・循環型社会をつくるために、若者と地域の人が協力して畑で野菜を作る等、身近に循環社会をどのようにして作るか伺います。

**A 市長** ●これまで園児や小学生に、ごみ分別教室やコンポストを使った循環型ライフスタイルの体験講座を行っています。また、市内の休耕地を有効活用した「心豊かな自然体験事業」として有機農業や地産地消の利用促進し、輸送エネルギー削減にも取り組む予定です。

温室効果ガス削減の進捗管理は

**Q** 温室効果ガス削減目標の進捗管理は、どのように行っているか伺います。

**A 市長** ●本市の実行計画は、「事務事業編」で、公共施設

や公用車のエネルギー消費を調査し、実質的排出量を把握しています。

「区域施策編」では、国の「自治体排出量カルテ」を活用し、市全体の温室効果ガスの排出量を推計しています。また、市長を本部長とする「地球温暖化対策本部」を設置し、目標の達成状況を確認しています。さらに、学識経験者などで構成する「市環境審議会」にも達成状況などを報告しています。

再生可能エネルギーの促進は

**Q** 再生可能エネルギーの活用を促進する具体策を伺います。

**A 市長** ●本市は太陽光電池を中心に活用促進したいと考えており、具体的には、現在改修中の「(仮称) ののいち子育てステーション」の増設部分に太陽光パネルを設置予定です。

太陽光以外では松任石川環境グリーンセンターにおいて、ごみ焼却熱を利用したバイオマス発電を実施し、市内16か所の公共施設へ通電しています。

選挙の投票率向上対策は

**Q** これまでの選挙の投票率向上対策の基本的な考えと今後の具体策を伺います。

**A 総務部長** ●これまで「明るい選挙推進協議会」では、市内の各種イベントでの投票の呼びかけや小学校での模擬投票など年間を通して啓発活動を実施している。また、大学では、大学の協力を得ながら学生のメーリングリスト等を活用して選挙啓発を行っています。さらに、新たな取組として、選挙啓発の紙芝居を製作して保育園・認定こども園に配布しています。今後は、主権者教育など地道な活動を継続して取り組んでまいります。

投票しやすい環境の検討は

**Q** 10月実施の国政選挙後に高齢者から、「投票所まで歩けず欠席した」との話を聞きました。共通投票所や大学や商業施設への期日前投票所の設置検討について伺います。

**A 総務部長** ●共通投票所や商業施設での期日前投票所の設置については、市有施設でない場所のことでもあり、今後、課題解決に向け調査研究してまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/Rllq94xHsGk>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/B0b-4LoLp2Q>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





畠中 勝己 議員  
(野々市フォーラム)

## 学校グラウンド施設整備について スクールバス運行について

### 防球ネットの延長と嵩上げを計画 減便・廃止は考えず運行に努める

- Q** 小中学校7校の屋外グラウンドでは防球対策が講じられているが、時折、防球ネットや防球フェンスを越える事案が散見されるが、防球対策及び防砂対策について市長の見解を伺う。
- A** 教育部長 ● 使用するボールが防球施設を超えることも散見され、更なる事故防止の観点から、防球施設の設置状況については、随時、調査を行っており、今年度は館野小学校の防球ネットの延長と嵩上げ工事を行う計画であります。防砂対策については、グラウンドの周囲に防風林としての植栽や、防砂ネットの設置などを行っているところであり、各小中学校やその他施設の状況を踏まえ、設置個所の追加や、さらに効果的な砂の飛散防止策について検討していきたいと考えています。
- Q** 野々市中央公園駐車場について、西側の既存駐車場が閉鎖状態であるが、少しでも早く暫定駐車場として供給していく必要があるのではないかと見解を伺う。
- A** 建設部長 ● 野々市中央公園には、ツバキを展示している椿館、椿山のほか、多くの樹木がある。

- Q** 家庭教育について、核家族化、共働き家庭の増加など地縁的つながりの希薄化等を背景に、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている状況について、「家庭教育」に対する見解と、本市の実情に合った「家庭教育支援チーム」・「アウトリーチ型家庭教育支援」に官民連携で取り組むことを提案しますが、見解を伺う。
- A** 市長 ● 保護者が安心して子育てができるよう、家庭教育の大切さを社会全体で考え、支援し

- Q** 日本語教室の拡充について  
本市に居住の外国人への日本語教室の現状について伺う。
- A** 地域政策部長 ● 平成25年より本市国際友好親善協会の協力で開設され、現在毎週月曜日、開催している。
- Q** サポートのスキルアップについて伺う。
- A** 地域政策部長 ● 毎年研修を実施しており、今年度は2月に予定している。また、外国人コミュニケーションリーダーの育成研修も実施している。
- Q** 外国人の児童生徒の日本語学習にはどのように対応しているか。
- A** 教育部長 ● 教材の工夫や、翻訳機の活用などしつつ、校内で日本語指導を実施し、保護者と相談しながら充実を図っている。
- Q** スクールバスの運行について、将来的に減便または廃止を含め検討すべきと思われるが、見解を伺います。
- A** 教育部長 ● 国庫負担等に関する法律施行令や文部科学省が策定した公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きにおいて、適正な通学距離を小学校で概ね4km以内とされており、本市においては大変交通量の多い幹線道路が複数あり安全・安心面において特段の配慮が必要であると考えています。このことから、通学距離のほか道路横断や、歩道の幅が通行に十分か、自動車の交通量などを鑑みて、決定しているところでございます。今年度は、565名の児童がスクールバスを利用しており既存の路線バスやコミュニティバスを利用することは、定員、本数、発車時刻から実現が困難と考え、今のところ減便・廃止は考えていない。



代表質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/SXVXTudaxg>

代表質問のページは、各会派の責任により編集されています。



田中 陽子 議員  
(野々市フォーラム)

## 教育センターの大規模改修事業について

### 不登校児童生徒の増加傾向を考慮して 個室、相談室を増設する

- Q** 教育センターの大規模改修事業についてどのような計画か。
- A** 市長 ● 築30年以上経過し、老朽化しているため、外壁屋根の防水、バリアフリー化、多目的トイレの設置、空調設備の改修、LED化など予定している。また、本市においても不登校児童生徒が増加傾向にあり、多様化する児童生徒、その保護者の実情に合わせた事業運営を行うため、個室学習ブースや、相談室の増設、活動室やプレイルームの改修などを計画している。利用者の多様なニーズに合った教育環境や、学習環境を確保するための整備を行っていききたい。
- Q** 大規模改修工事が行われる期間中の利用者の対応は。
- A** 教育部長 ● 内部の工事は夏休み期間に行い、安全管理の管理を徹底する。
- Q** 野々市ブランドについて  
野々市ブランドに物品以外で本市独自の取り組みや、「人」「まちづくり」「事業」といった「コト」を認定する考えはないか。
- A** 市長 ● 本市での「コト」とは、古くから続く行事などが想定されるが、ブランド認定というよりは、市の価値や、魅力が高まるように「コト」を支援していきたい。
- Q** 野々市ブランドの代表ともいえるキウイフルーツ・キウイフルーツワインを今後どのようにサポートしていくのか。
- A** 市長 ● 昭和53年から市内各地で積極的に栽培されてきたが、市街化区域の拡大による農地の減少、生産者の高齢化や後継者不足により、キウイフルーツの生産量も次第に減少している。今後においてもこれまで同様に生産団体の育成や、イベント出店の支援など特産品であり続けられるよう、必要なサポートを続けていきたい。

- Q** 日本語教室の拡充について  
本市に居住の外国人への日本語教室の現状について伺う。
- A** 地域政策部長 ● 平成25年より本市国際友好親善協会の協力で開設され、現在毎週月曜日、開催している。
- Q** サポートのスキルアップについて伺う。
- A** 地域政策部長 ● 毎年研修を実施しており、今年度は2月に予定している。また、外国人コミュニケーションリーダーの育成研修も実施している。
- Q** 外国人の児童生徒の日本語学習にはどのように対応しているか。
- A** 教育部長 ● 教材の工夫や、翻訳機の活用などしつつ、校内で日本語指導を実施し、保護者と相談しながら充実を図っている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/QxW5rwkBKvE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





木谷 直子 議員  
(公明)

## 市庁舎のシンボル塔に様々なカラーで ライトアップができる照明の設置を

テーマに合わせた色のライトアップが  
できるよう設備を更新していく

**A 総務部長** ●本市では、災害時のトイレ確保・管理計画は作成していないが、避難所運営マニュアルにトイレ対策として掲載している。

**Q** 災害関連死を防ぐには避難所の環境改善が必要。特にTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の整備が重要である。アンケートによると災害時のトイレ確保・管理計画を策定していない自治体が75・9%に上るが、本市は策定しているのか。

**Q** 避難所の環境改善について

災害関連死を防ぐには避難所の環境改善が必要。特にTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の整備が重要である。アンケートによると災害時のトイレ確保・管理計画を策定していない自治体が75・9%に上るが、本市は策定しているのか。

**A 健康福祉部長** ●本市ではH26年度より「市民カウンセラー養成講座」を開催し、傾聴スキルを持つ人材の育成に努めている。それに加えて、受講者の裾野を広げる意味からも、R7年度には心のサポーター養成研修に取組む予定とする。

**Q** 心の不調で悩む人をサポートする取組として、今行っている「市民カウンセラー」養成と共に、幅広い年齢層が対象である厚生労働省の「心のサポーター」養成にも取組んでいただきたい。

**Q** 心の不調で悩む人をサポートする取組として、今行っている「市民カウンセラー」養成と共に、幅広い年齢層が対象である厚生労働省の「心のサポーター」養成にも取組んでいただきたい。

心のサポーター養成の取組について

【災害用備蓄数】	
1 拠点避難所あたり	
携帯トイレ	2000 個
組み立て式トイレ	4 台
(5,500 回／1 台)	
総数で	
段ボールベッド	250 個
間仕切り	250 個
【想定避難者数】	2500 人

今後、県地域防災計画の修正を踏まえ、市の地域防災計画や避難所運営マニュアル等に反映させていく。

**Q** 災害用トイレの備蓄状況についてのアンケートでは、最大規模災害時の想定避難者数に対して、足りる見込みと答えた自治体は30・7%である。本市はどのような認識か。また、適切な携帯トイレの使用方法等のマニュアルを作成し、各避難所に備える必要があるのではないか。

**A 総務部長** ●全10カ所の拠点避難所には、携帯トイレ・組み立て式トイレの備蓄がある。加えて、災害時支援協定を締結した団体より、仮設トイレやトイレカーなどの提供を受けることになっており、本市が想定する避難者2500人の3日分のトイレ回数を十分に確保できると考えている。また使用方法マニュアルについては、既存マニュアルを見直す際に、しっかりと反映させていく。

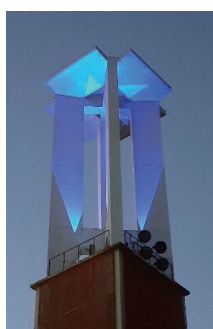
**Q** 避難所には、携帯トイレ・組み立て式トイレの備蓄がある。加えて、災害時支援協定を締結した団体より、仮設トイレやトイレカーなどの提供を受けることになっており、本市が想定する避難者2500人の3日分のトイレ回数を十分に確保できると考えている。また使用方法マニュアルについては、既存マニュアルを見直す際に、しっかりと反映させていく。

**Q** 災害用トイレの備蓄状況についてのアンケートでは、最大規模災害時の想定避難者数に対して、足りる見込みと答えた自治体は30・7%である。本市はどのような認識か。また、適切な携帯トイレの使用方法等のマニュアルを作成し、各避難所に備える必要があるのではないか。

**A 総務部長** ●全10カ所の拠点避難所には、携帯トイレ・組み立て式トイレの備蓄がある。加えて、災害時支援協定を締結した団体より、仮設トイレやトイレカーなどの提供を受けることになっており、本市が想定する避難者2500人の3日分のトイレ回数を十分に確保できると考えている。また使用方法マニュアルについては、既存マニュアルを見直す際に、しっかりと反映させていく。

**Q** 災害用トイレの備蓄状況についてのアンケートでは、最大規模災害時の想定避難者数に対して、足りる見込みと答えた自治体は30・7%である。本市はどのような認識か。また、適切な携帯トイレの使用方法等のマニュアルを作成し、各避難所に備える必要があるのではないか。

今後、県地域防災計画の修正を踏まえ、市の地域防災計画や避難所運営マニュアル等に反映させていく。



シンボル塔の  
ブルーライト  
アップ

**Q** 段ボールベッドと間仕切りは一カ所にまとめて備蓄されていたが、分散保管に向けての取り組みを伺う。備蓄数も増やすべきだ。

**A 総務部長** ●本町6丁目倉庫のほか一部の拠点避難所、防災コミュニティセンター、消防格納庫などに分散備蓄している。また、庁舎地下室にも備蓄する予定である。備蓄数は、要配慮者に優先配布ができるよう想定避難者数の1割を備蓄しているが、地域防災計画を見直す際にスペース確保と共に検討していく。

**Q** 計画を見直す際に、国際基準の「スフィア基準」を満たす避難所を目指していただきたい。

**A 総務部長** ●今後スフィア基準を満たした県の地域防災計画が示されることと思うので、本市の地域防災計画についても、同様に見直しを行っていききたい。

**【その他】** 女性視点を踏まえた防災対策について



三納 昭博 議員  
(野々市フォーラム)

## 放課後児童クラブについて、保護者運営 に対する在り方を伺う

各クラブの運営方針を尊重し意見を伺い、  
今後の運営の在り方を共に検討したい

(仮称) 野々市つばきの杜センター整備について

**Q** 基本設計と概算見積を伺う。また、新設する箇所や改修により変更する点、社会福祉協議会事務所の場所について伺う。

**A 市長** ●基本設計の概算見積は約8億8千万円である。主たる改修箇所は、椿荘と中央児童館の玄関を一つにして高齢者と子育て世代が交流できる「エントランスホール」を増築し、休館中の「いきがいセンター矢作」をフレイル予防の拠点施設として再整備する。また、社会福祉協議会の事務所を現在の椿荘集会室スペースへ移転し複合施設としての機能強化を期待し、災害時等の円滑な福祉避難所の開設、運営を期待する。

**Q** 改修後使用するこれからの40年のため、利用者への配慮を行うための改修箇所は。

**A 市長** ●勾配のきついスロープを撤去し、館内をできるだけフラット化を行い、多目的トイレと障がい者用駐車場を増設、誰もが改修は令和7年10月頃着工とし、1年間の工期を予定している。

**Q** 改修後使用するこれからの40年のため、利用者への配慮を行うための改修箇所は。

**A 市長** ●勾配のきついスロープを撤去し、館内をできるだけフラット化を行い、多目的トイレと障がい者用駐車場を増設、誰もが改修は令和7年10月頃着工とし、1年間の工期を予定している。

わかりやすい案内表示、玄関を自動ドア化し、すべての利用者が快適に利用できるセンターを整備する。

**Q** 検討中のICTシステム導入補助について、予算化されるのであればクラブの重荷となる利用料など、ランニングコストについても補助をお願いしたい。

**A 健康福祉部長** ●市学童保育連絡協議会からも要望をいただいております。導入することは大変有効であると考えていることから、ランニングコストを含めて予算化を検討する。

放課後児童クラブについて

**Q** 保護者運営に対するこれまでのサポートを。

**A 市長** ●保護者運営については、子ども達を思う熱意により運営されてきたものと感じる一方で、国の制度改革等により負担が増加していると考えている。

各クラブの運営方針を尊重し意見を伺いながら、今後の運営の在り方について共に検討したい。

市職員の管理について

**Q** 専門職員の更なる確保が必要と感じるが、市の方針は。

**A 総務部長** ●本年度試験的に、公務員の求人の特化した就職・転職サイトを活用した。保有資格や実務経験等により試験内容の一部免除、受験資格の緩和等を行っている。今後も即戦力となる職員を確保したい。

**Q** 職員のメンタルヘルス対策について、市の考えを伺う。

**A 総務部長** ●現在は研修及びストレスチェックを行っている。また、健康診断のように定期的な医師によるメンタルヘルスの問診が必要と考えるが。

**A 総務部長** ●現在は研修及びストレスチェックを行っている。また、健康診断のように定期的な医師によるメンタルヘルスの問診が必要と考えるが。

ストレスチェックにより高ストレスと判断され、本人が希望する場合において産業医による面接指導を実施している。今後はメンタルヘルス対応研修、部下に対するメンタルケアの基本を学ぶラインケア研修等、職場全体で理解や対応力が図られる研修を行いたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://youtu.be/JI-OfUvmryw>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 [https://youtu.be/G4Zq4\\_Qczbo](https://youtu.be/G4Zq4_Qczbo)

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。





中村 和流 議員  
(あおばの会)

## 国の「重層的支援体制整備事業」を実施するか

### 令和7年度から実施し、健康福祉部に「(仮称)地域共生推進室」を設置する

- Q** 見えない弱者を発見し、みんなで支援する国の「重層的支援体制整備事業」を進めるべきだと思いが見解を伺う。
- A** 市長 ● 令和7年度から国の補助金を活用した「重層的支援体制整備事業」を実施。事業を推進するため「(仮称)地域共生推進室」を健康福祉部に設置し、調整する職員を福祉総務課内に配置したい。
- Q** 「重層的支援体制整備事業」を具体的にどう進めるか。
- A** 市長 ● これまで支援が届きづらかった方の支援ニーズを把握する。新たに2つの新規事業を把握する。1. 社会とのつながりなどを支援する「アウトリーチ等を通じて継続的支援事業」2. 社会的に孤立している方が、社会と接点を持つことが出来る場を提供する「参加支援事業」に取り組む。
- Q** 高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者といった従来の枠組みだけで対応できない問題に対応するために、令和5年に発足した市の「福祉連携調整室」の現状を伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 精神障害を抱えながら大量のごみがためこ

- Q** 障害のある方が安心して生活するための総合相談窓口「野々市市障害者基幹相談支援センター」の利用状況と現在1名である窓口相談員の増員を検討するかを伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 「野々市市障害者基幹相談支援センター」は、障害者手帳や診断の有無に関わらず、障害に関する悩みや不安、困りごとを無料で相談でき、昨年度は337人の方から障害福祉サービスの利用や、健康・医療に関すること
- Q** 野々市市障害者基幹相談支援センターについて
- A** 健康福祉部長 ● 「野々市市障害者基幹相談支援センター」は、障害者手帳や診断の有無に関わらず、障害に関する悩みや不安、困りごとを無料で相談でき、昨年度は337人の方から障害福祉サービスの利用や、健康・医療に関すること



登降園・保護者連絡などに公立保育園で導入されているICT機器

- Q** 放課後児童クラブのICT化の推進とその支援をどう行うか。
- A** 健康福祉部長 ● 児童の入退室及び職員の出退勤時間を管理するICTシステム導入に向けた補助を検討する。
- Q** 障害のある方やその家族の生活を地域全体で支える「地域生活支援拠点事業」の登録事業所の登録状況を伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 令和6年度に市内5つの障害福祉サービス事業所が登録。①相談②緊急時の受け入れと対応③地域の体制づくり④体験の機会と場の提供に取り組んでいる。更に11の事業所に登録をお願いした。
- Q** 障害のある方が安心して生活するための総合相談窓口「野々市市障害者基幹相談支援センター」の利用状況と現在1名である窓口相談員の増員を検討するかを伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 「野々市市障害者基幹相談支援センター」は、障害者手帳や診断の有無に関わらず、障害に関する悩みや不安、困りごとを無料で相談でき、昨年度は337人の方から障害福祉サービスの利用や、健康・医療に関すること



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、<https://youtu.be/z61iY-kPy3o>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員  
(日本共産党)

## 旧本町児童館を「新しい形のこどもの居場所」として活用を

### 自主防災組織の充実を図るため、現在の補助制度の対象を拡大することができないか検討していきたい

- Q** 2025年度から5か年計画で「野々市市子ども計画」が策定されることになっている。子ども家庭庁の「こどもの居場所づくりに関する指針」では、「多様なこどもの居場所づくりを進めるに当たり、既存の地域資源を活用することもある」として、公民館や学校、児童館なども対象にしている。旧本町児童館を本町地域の子どもの教育・学習支援の場として、あるいは、NPOによる無料塾や子ども食堂など、「新しい形のこどもの居場所」として活用する考えはないか。
- A** 市長 ● 現在、利活用事業者の再公募に向けた準備を進めており、先ずは公募の結果を待ちたい。
- Q** 「こどもの居場所づくり」で、子どもたちの意見が反映される組織体制と、独立した立場で子供の意見を代弁し、個別の事案の相談・救済する機関として、子ども

- Q** 「うちは子どもが3人居ます。これから小学校に上がるので切実です」など、無償化を求める市民の声は大きくなっている。学校給食が教育の一環とされながら給食費が子育て世帯の重い負担となっている現実と、無償化が社会の流れとなっている中、無償化に向け一歩踏み出す時に来ているのではないか。
- A** 市長 ● 「103万円の壁」の引き上げによる所得税・住民税の減収の影響や学校などの教育施設の大規模事業も控えており、無償化については国や県からの補助制度が創設されないことには、大きな財政負担になる。
- Q** 新体育館建設計画  
市長 ● 「市民向けの整備」方針  
変わることはない
- A** 市長 ● 本来であれば、国に設置されるべきものと思うが、設置済みの自治体もあるので、調査研究していきたい。
- Q** 給食費が子育て世帯の重い負担に  
学校給食無償化に踏み出す時
- A** 市長 ● 「うちは子どもが3人居ます。これから小学校に上がるので切実です」など、無償化を求める市民の声は大きくなっている。学校給食が教育の一環とされながら給食費が子育て世帯の重い負担となっている現実と、無償化が社会の流れとなっている中、無償化に向け一歩踏み出す時に来ているのではないか。

- Q** 新しい体育館の位置付けで、基本計画では、「興行ではなく市民向けの整備」としているが、今後、事業を進めるなかでも変わらなと理解してよいか。
- A** 市長 ● 基本計画では、「市民向けの整備」とする方向性としており、今後、事業を進めるうえでも、この方針が大きく変わることはないと考えている。
- Q** 区画整理事業が進む新体育施設建設予定地  
奥の林が中央公園



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、<https://youtu.be/rBHow68deH8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



## 視察報告（◎は委員長、○は副委員長）

### 総務産業常任委員会

日程…1月14日から16日まで  
参加者…◎小堀、○畠中、三納、西村、朝倉、中村義彦、岩見  
**栃木県宇都宮市…宇都宮屋台横丁について**

宇都宮屋台横丁の事業主体は民間企業であり、屋台全体がそれぞれ切磋琢磨し、特徴のある店になっている。屋台の入りやすさや雰囲気存分に味わうことができ、人の流れを引き込むことができるように各種イベントを企画し、特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構、商工会議所と協働で、まちの活性化、賑わいのあるまちに繋がっている。

**埼玉県深谷市…深谷宿屋台村「ぶっかちゃん横丁」について**

中心市街地、特に中山道沿道商店街の空洞化に歯止めを掛け、活性化の起爆剤となる賑わいの素を作り出すこと、また、新たに起業しようとする者の受け皿となることを目的に屋台村を開設。市所有地を利用し、公衆トイレ等は市が負担したが、整備費用の3割強は国庫補助金を活用している。これまでに6名の店主が屋台村から市内へと出店し

ている。

**埼玉県川越市…歴史まちづくりについて**

蔵造り商家が昭和46年に国指定重要文化財に指定された機運にのり、住民主体による町並み委員会が発足し、後の都市景観条例の制定につながった。現在も蔵建築物を中心とした町並みに観光客があふれる、伝統的建造物群保存地区になっている。また、伝統的建造物の修理等については、補助率・上限額を設けて支援している。

**埼玉県朝霞市…官民連携まちなか再生推進事業について**

令和元年にウォーカブル推進都市となり、誰もが「居心地が良く、歩きたくなるまち」と、「人でにぎわう魅力的な商業エリア」の創出を目指して、官民連携による公園や街路空間の活用を軸に、市民主体でエリアビジョンを描いている。駅前ロータリーを交通規制し、広場にするなどで、イベント場所の確保など、ウォーカブルを推進している。令和3年度から3年間は、国からの補助金を活用しており、市からの金銭的援助はなく、自立自走を前提に取り組んでいる。

### 教育福祉常任委員会

日程…10月16日から18日まで  
参加者…◎向田、○田中、木谷、中村和流、梅野、安原、西本  
**埼玉県戸田市…認知症に関する取組について**

令和6年4月に施行された「認知症とともに生きるあたたかいまちづくり条例」の制定のいきさつと現状を伺う。偏見のない正しい認知症の理解のための出前講座、中高生対象の認知症サポーター養成講座実施。民間の啓発展示、認知症カフェ（トコカフェ）開設で、その家族のサポートもしている。

**東京都大田区…学びの多様化分教室「みらい学園中等部」及び「みらい学園初等部」について**

この学園は、特別支援を目的とせず、多様な価値観を持った児童生徒が、教職員と関わり合いながら、安心して将来を見つめながら学校生活を送っている。令和12年には、新校舎として96名の児童生徒を受け入れる予定と伺った。特別支援を目的としない学習、日常生活が送れる環境整備について非常に羨ましく感じた。



みらい学園中等部での視察

**東京都練馬区…高齢者福祉政策について**

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に継続して行われる、地域包括ケアシステムに取組んでおられる先進地の取組を伺った。特に街かどケアカフェについて本市でも今ある地域カフェを活用できるのではないかと感じた。

**埼玉県白岡市…部活動地域移行について**

土日の部活動を地域のクラブ活動に参加するという取組は指導者の確保、資金、保険、交流試合の参加など、問題が山積みであるが、白岡市では教職員、生徒、保護者、それぞれに説明会を何度も開催したとのこと。まずは、できることから始めることが大切だと感じた。

## 視察報告（◎は委員長、○は副委員長）

### 議会運営委員会

日程…11月6日から8日まで  
参加者…◎中村義彦、○向田、西村、畠中、小堀、北村  
**岩手県大船渡市…災害対応指針及び業務継続計画**

東日本大震災の発災後、議員個人の判断による活動が目立ち、執行部に混乱を招き、統制がとれない事態が続いた。また、津波浸水地域と山間地域では、議員が行う活動に様々な相違があつた経験などから、災害時の議会対応や議会機能の維持などを明確にするため、指針や計画が必要と判断。

そこで、特別委員会を設置し、3つの部会で検証を行い、市へ提言を行うとともに、災害対応指針や業務継続計画を策定した。議会の情報は、議会災害対策会議で集約し、執行部に伝達する仕組みとした。

**宮城県登米市…通年議会の導入経緯と運用及び意見交換会の取り組み**

監視型議会から市民参加型・提案型議会への転換を目指して、様々な改革を継続的に取り組んでいる。通年議会の導入にあたり、市長の専決処分に関して、議会の議決に付

することが多い案件は、迅速な業務対応を図るため、執行部と協議して、いくつかの案件を専決処分事項として指定した。

市民との意見交換会は、議会基本条例に実施する根拠を規定し、地域別・分野別・団体等の3種類の意見交換会を開催。議員が容易に開催・運営できるよう、開催要領や運用マニュアルを作成し、これまで多くの意見交換会を実施している。

**福島県会津若松市…政策サイクルの実践事例**

決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

### 議会改革特別委員会

日程…11月13日から14日まで  
参加者…◎西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原  
**東京都東村山市議会…議会報告会をはじめとする議会改革の取り組み**

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

多くの市民参加を目的として、①前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、②議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、③オ



東村山市議会での視察

議会・委員会の運営状況や各議員の政治活動状況をSNSで配信し、いつでもどこでも、だれでも、手軽に見ることができるようになっている。

手軽に議会活動を見ることができるようになることは、市民に開かれた議会を目指す取り組みの一つであると考え、運営管理方法が今後の検討課題となる。



## 採択された意見書

### ひきこもり支援に関する法整備を求める意見書

内閣府の調査によると、ひきこもり状態にある人は、全国で15歳から64歳までの年齢層に約146万人おり、およそ50人に1人と推計されています。従来、若年層の問題とされてきたひきこもりは、平成30年の国の調査によると、40歳から64歳までの中高年層にも及ぶことが明らかとなっており、ひきこもりの長期化・高齢化は、80代の親とひきこもり等の50代の子が孤立・困窮する「8050問題」や、親が亡くなった後の本人支援等の課題が大きな社会問題となっています。しかし、現在、ひきこもり支援に特化した法整備はされていません。

ひきこもりの原因は多様かつ

複合的であることから、当事者ひとりひとりに寄り添った、きめ細やかで切れ目のない支援が必要であり、地方自治体では重層的な福祉支援を実施しているものの、現状では、法のはざまで適切な支援を受けられない事例も少なくありません。こうした現状を踏まえ、適切な支援を行っていくためには、ひきこもり支援に関する法整備が必要であると考えます。

よって、国及び政府におかれましては、ひきこもりを社会全体で取り組むべき課題と捉え、ひきこもり支援に関する施策を推進するための基本法の制定など、ひきこもり支援に関する法整備を早急に図るよう強く求めます。

野々市市議会は、令和6年9月に発生した能登豪雨の被災地に、令和6年12月に義援金20万円を送りました。

## 3月定例会の予定

会期：2月25日(火)～3月19日(水) (23日間)



日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25 午前10時～ 本会議 開会  生中継	2/26	2/27	2/28	1
2	3	4	5 午前10時～ 本会議 一般質問  生中継	6 午前10時～ 本会議 一般質問  生中継	7 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	8
9	10 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	11 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	12 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	13 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ スポーツ施設等特別委員会	14	15
16	17 午前10時～ 予算決算常任委員会	18	19 午後2時～ 本会議 閉会  生中継	20	21	22

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。  
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

